

逆潮に 突っ張れ

SANKYO
KENSETU



株式
会社

三共建設

Vision

私たちは、人と環境の未来のため
持続可能な街づくりに取り組み続けます。

笑顔＝幸福

物心両面の幸福を追求

街に住む人、働く人、その家族、
多くの人々の物心両面の幸福を追求し、
地方経済の進歩と発展に貢献する
企業を目指します。

土木・舗装

生活(まち)の基盤を作り、
そして守る

街の基盤である道路や上下水道・耕作地を
整備し、斜面や河川を自然災害から守り、寸断
されたライフラインの早期復旧を行います。
我々はインフラストラクチャー（社会基盤・経
済基盤）整備や維持・補修を通じて、地方
の生活を守る事に貢献します。

建築

低炭素化に向けた取り組み

低炭素社会を作るために、室内環境とエネ
ルギー性能の最適化を図るためのビル管理
システム（BEMS）を導入したビルを建築し
ていきます。
BEMS を導入したビルを建築する事で消費
エネルギーを管理して CO2 排出を削減する
事ができるため結果、地球温暖化防止に
貢献します。

クリーン エネルギー

環境と防災を両立

環境と防災を両立させる持続可能な街づくり
へ貢献します。災害時にエネルギー供給が
途絶えた場合でも、すぐに回復するシステム
を再生可能エネルギーで構築したり、地域
エネルギー事業を推進し、サービスの運営
やメンテナンス等を周辺地域から雇用創出
することで地方創生を実現します。

Message

今、わが国では地震や大雨・台風による被害が後を絶ちません。
つい昨日まで、当たり前前に生活していた家がなくなる。当たり前前
に歩いていた道がなくなる。
当たり前前に使っていた電気が止まる。
いつもの風景が、いとも簡単に失われてしまいます。失って初めて、
自分たちが「豊か」に暮らしていたことに気づかされます。

では「豊かさ」とは何でしょうか？
モノの豊かさが絶対的な基準にならないこの時代に、人は何に豊か
さを感じるのでしょうか？

急速なスピードで常識や環境が変化する今、ヒトが求める豊かさは
多様化しています。人々の生活環境に寄与する「モノづくり」をして
いる私たちは、その豊かさに常に対応していかなければなりません。
あって当たり前と思っている道路や建築物や電気エネルギー。
この当たり前を当たり前にするには、そこに寸分の狂いのない「モノ
づくり」をしなくてはなりません。毎日、同じ作業を繰り返していると、
気が緩むことがあります。しかし、同じ作業の繰り返しでも、私たち
は「豊かな生活」がその先にあることを常に忘れることはしません。
絶え間ない「今」という瞬間瞬間に、信じた先にあるものを何度も
心に響かせるのです。
揺らぐことのない信念。信じ続けること。念じ続けること。
そこには大変なエネルギーを要しますが「豊かさ」を実現すべく、
己と対峙しています。
新しい形の「豊かな暮らし」づくりを通じて人々を幸せにしたい。
「住環境づくりで人々を豊かにする！」
我々は、持続可能なSDGsモデルを打ち立て、地方創生・国土
強靱化を目指していきます。

代表取締役

中島 竜作

住環境づくりで
人々を豊かにする

沿革

1969 年（昭和 44 年） 4社協業合併 三共建設協業組合設立
1975 年（昭和 50 年） ナウル共和国に技術支援として、5人の技術者
と舗装機械一式を持ち込んで、現地の人々と
共に島内の主要道路約30kmを舗装施工
株式会社三共建設設立
（三共建設協業組合から株式会社に変更）
鹿児島県知事 建設業許可取得
中島竜作が帰郷し経営参画
1994 年（平成 6 年） 財政改革・工程会議強化・OA化促進等への
1997 年（平成 9 年） 取り組みを本格的に開始
2000 年（平成 12 年） 建設省発注工事を初めて受注
品質マネジメントシステムISO 9000 取得
2001 年（平成 13 年） 尾波瀬トンネルをJVにて受注
2003 年（平成 15 年） 環境マネジメントシステムISO 14000 取得
2005 年（平成 17 年） タイヨー大根占店建設工事を受注
2012 年（平成 24 年） 太陽光発電事業に着手

2013 年（平成 25 年） 中期経営計画策定
霧島支店 設置
東日本大震災復興工事へ参画開始
2014 年（平成 26 年） 伊座敷トンネルをJVで受注
東京本社 設置
国土交通大臣建設業許可取得
2015 年（平成 27 年） 熊本地震復興工事へ下請で参画開始
株式会社Life plus home 会社分割
九州地方整備局長優良工事表彰受賞
2016 年（平成 28 年） 東京本社 新宿区神楽坂へ事務所移転
2018 年（平成 30 年） クリーンエネルギーのEPC事業開始
労働安全衛生マネジメントシステムISO45001取得
2019 年（平成 31 年） 持続可能な開発目標（SDGs）への取組開始
2019 年（令和 元年） 錦江町にて木質バイオマス発電所・熱供給施設を建設
2020 年（令和 2 年） 電気の公共工事を初めて受注
2022 年（令和 4 年） 東京本社 渋谷区桜丘町へ事務所移転
2024 年（令和 6 年）



事業概要

三共建設は、最先端技術と長年培った技術を駆使し
人と社会が夢を追いつけられる空間を創造します。

私達は時代の通過者として、
子供達や後世の人々に、この美しき国土を美しいまま継承できるように、
時代の最先端技術をいち早く取り入れ、建設分野において
あらゆるニーズにソリューションを提供していきます。

人が心の底から心地よく過ごせ、笑顔を忘れず、夢を追いつけられる空間を創造していきます。

今までにない建設業のモデルを確立し、建設業界と地域経済の発展に
貢献していきたいと考えています。



土木舗装事業

街の暮らしに欠かせない道路、トンネルなど、社会基盤を支える土木構造物の施工、維持管理に最適な技術を提供します。



建築事業

公共施設、商業施設、民間マンションの建設など地域に密着した建築物の設計・施工を高い技術力で提供いたします。



クリーンエネルギー事業

子どもたちに誇れる豊かな社会の実現のため、自然エネルギーの普及を積極的に推進します。

土木舗装事業

街の暮らしにかかせない道路・トンネルなどの施工、維持管理、現場管理まで一貫した対応が可能です。

地域社会の基盤整備となる土木工事、舗装工事を数多く手がけ、安全で快適な地域社会づくりに貢献してまいりました。地域の発展や人々の暮らしの充実のため、これからも豊富な実績で培ってきた技術力で作り続けます。



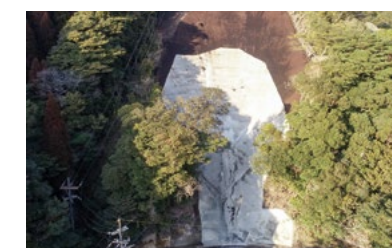
土木工事実績



令和5年12月完成
鹿児島220号古里地区
(第8工区)改良工事



令和5年9月完成
日南・志布志道路立山地区改良工事



令和4年2月完成
2 災 725 号道路災害復旧工事

舗装工事実績



令和6年3月完成
道路補修(交付金)(舗装)工事
(田代麓外 R5-1 工区)



令和5年10月完成
県単道路整備(改良)工事
(有里 R5-3 工区)



令和2年10月～令和3年12月
令和2年度古江地区構造物補修外工事

その他実績

- ・令和 3 年 2 月完成 道路改築工事(末吉道路 2-9 工区)
- ・平成 30 年 2 月完成 道路改築工事(有明道路 29-51 工区)
- ・平成 31 年 4 月完成 宮崎誘導路改良工事



会社表彰



工事成績優秀企業認定書

令和6年度 工事成績優秀企業認定書
令和6年7月 国土交通省九州地方整備局より、局長表彰を頂戴いたしました。対象工事は、令和4年度、令和5年度の九州地方整備局発注の土木工事です。

表彰実績

- ＜会社表彰＞
- ・九州地方整備局優良施工業者[工事]表彰(志布志 ICA ランプ改良工事)
- ・インフラ DX 活用優秀施工業者部門 日南・志布志道路鶴瀬地区(第2工区)改良工事

建築事業

低炭素化へ取り組み
心地の良い空間づくりを
行っています。

低炭素社会を作るために、室内環境とエネルギー性能の最適化を図るためのビル管理システム（BEMS）を導入したビルを建築しています。BEMS を導入したビルを建築する事で消費エネルギーを管理して CO2 排出を削減する事ができ、地球温暖化防止に貢献します。



実績



令和 5 年 9 月完成
令和 5 年度田代小学校屋内運動場改修工事



令和 5 年 3 月完成
令和 4 年度にしきの里改修工事



平成 30 年 5 月～令和元年 5 月
平成 30 年度錦江町総合交流センター建設工事

その他実績

- ・令和 3 年 2 月完成 令和元年度田代小学校障害児等対策施設整備工事
- ・令和 3 年 10 月完成 (仮称) 横浜市西区南浅間町計画新築
- ・令和 2 年 7 月完成 桜台四丁目計画新築工事

クリーンエネルギー事業

子どもたちに誇れる豊かな社会の実現
のため自然エネルギーの普及を推進

世界的にエネルギー市場の不安定な状況の中、エネルギーを安定的かつ適切に供給するために、環境への負荷の少ない太陽光やバイオマスといった再生可能エネルギーの導入を一層勧めています。

実績



令和 5 年 10 月完成
石狩市第 2 太陽光発電所



令和 4 年 10 月完成
南大隅町本庁舎外構（電気設備）工事

その他実績

- ・令和 5 年 5 月完成 雲仙市吾妻町栗林名太陽光発電所
- ・令和 4 年 3 月完成 霧島グリーンソーラー
- ・令和 3 年 7 月完成 磐田市大久保太陽光発電所

会社概要

名 称	株式会社三共建設
所 在 地	〒893-2401 鹿児島県肝属郡錦江町田代麓3355番地1 TEL:0994-25-2551 FAX:0994-25-2552
創 立	昭和32年1月19日
資 本 金	20,000千円
社 員 数	75 人
代 表 者	代表取締役 中島竜作
業 務 内 容	土木工事業 建築工事業 とび・土工工事業 石工事業 鋼構造物工事業 ほ装工事業 しゅんせつ工事業 塗装工事業 防水工事業 水道施設工事業 電気工事業 管工事業 解体工事業

登 録 資 格	特定建設業許可：国土交通大臣許可(特-6)第25527号 宅地建物取引業者：鹿児島県知事許可(1)第6536号
---------	--

有資格一覧	1級土木施工管理技士 15名	測量士 5名	1級電気工事施工管理技士 7名
	2級土木施工管理技士 11名	2級造園施工管理技能士 3名	2級電気工事施工管理技士 2名
	1級建築施工管理技士 3名	解体工事施工技士 1名	電気工事士 第一種 4名
	2級建築施工管理技士 3名	登録基幹技能者 14名	電気工事士 第二種 3名
	1級建築士 2名	2級管工事施工管理技士 6名	第3種電気主任技術者 2名
	2級建築士 2名	建設業経理士 6名	1級舗装施工管理技術者 2名
	2級建設機械施工技士 2名	宅地建物取引士 1名	2級舗装施工管理技術者 4名

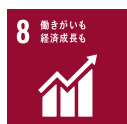
支 社	東京本社 〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町22-19 1F TEL:03-6435-0751 FAX:03-6435-0793 福島オフィス 〒975-0049 福島県南相馬市原町区大甕字山岸23-4 TEL:0244-26-9790 FAX:0244-26-9790
-----	--

SDGsへの取り組み

持続可能な街づくり、
笑顔のある街づくりに貢献する。

私たちは街・人・環境の未来を守るため、
SDGs（エス・ディー・ジーズ）に取り組めます。
次世代につながる、人々の暮らしに寄り添った
持続可能な街づくりを目指します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



株式会社 三共建設